

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作 I				
担当者氏名	吉田 和子				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

小学校図画工作科の教育活動、また幼児造形活動について、基礎的な技術や自己表現力を高め、自らの活動を通して理解し、今後の教材研究や授業計画へと実践に活かせるよう授業を進める。

《授業の到達目標》

(1) 基本的な材料、用具の扱い方や造形操作ができ、多様な表現方法を習得、活用できるようになること。

(2) (1)を踏まえ、子どもの表現意欲を育てる指導や援助について理解を深め、子どもへの適切な働きかけができるようになること。

《成績評価の方法》

1. 各課題作品とレポート (70%)
2. 通常の授業での学習態度、取組状況(30%)

《テキスト》

テキストは使わないが、適宜資料を配布する。

《参考図書》

- ・佐藤剛外 著「大好きになる図画と工作」東京図書出版 2014
- ・美術出版社「わくわく図工室にいこう(全3)」2017
- ・京都市立芸術大学美術教育研究会編集「美術資料」秀学社
- ・樋口一成 編著「幼児造形の基礎」萌文書林 2018

《授業時間外学習》

・日頃から、造形教育に興味を持ち関連書籍を読んだり、身近な子どもの造形作品展示や美術館の展覧会を鑑賞する。

・造形的なアートワークショップのボランティアに参加体験をしよう。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	授業の進め方、準備物・実技課題・提出物について 小学校の図画工作、幼児造形活動の様子
2	パスを使って	基本画材「パス」を知る・使う・特徴を生かした表現方法 (基礎技法からの色彩づくり)
3	パスとコンテを使って	多様な技法を生かした表現方法 (多様な色彩から作品づくり)
4	水彩絵の具を使って (1)	基本画材「絵の具」を知る・使う・特徴を生かした表現方法 (基礎技法からの色彩づくり)
5	水彩絵の具を使って (2)	多様な技法、いろいろな表現技法の応用
6	水彩絵の具を使って (3)	多様な技法、いろいろな表現技法の応用
7	表現技法の応用へ(1)	いろいろな表現技法の応用から作品づくりへ
8	表現技法の応用へ(2)	表現技法で作品作り
9	素材研究 (1)	自然素材の開発とその表現方法
10	素材研究 (2)	身の回りの廃棄物素材の開発と作品づくり
11	紙工作	紙の素材研究とその応用作品づくり
12	表現と鑑賞	小学校の鑑賞活動から表現活動へ
13	授業や表現活動について (1)	図画工作・表現活動の題材、教材を考える(状況によりグループでの取り組み)
14	授業や表現活動について (2)	図画工作・表現活動の題材、教材を制作しよう(状況によりグループでの取り組み)
15	4月からの振り返り	振り返りと作品の整理、図画工作 I のまとめレポート提出